

**Omaha World-Herald (2014年8月2日付)**  
同紙のコラムニストMichael Kelly 氏に伝えた内容が  
記事として掲載されました（電子版、紙面）。  
下記はその直訳です。



1983年、ニュージーランド旅行を楽しんでいたオマハ在住のNorman & Eunice Denenberg夫妻は、車が壊れて立ち往生していた若い日本人男性を見かけた。彼は英語はあまり上手でなく、夫妻も日本語は分からなかったが、お互いに理解し合うことは出来た。夫妻はそこから約30分ほど離れた町のガススタンドまでその日本人を乗せて行き、彼のレンタカーをその現場まで取りに戻り、かつ修理してもらえるように交渉、手配した。その若い日本人はA. Oguchiという名前の医学生で、彼は帰国後、お礼に英訳された日本の小説を夫妻に贈った。その後、彼は心臓専門医となり1990年代はじめに米国アトランタのエモリー大学に留学した。在米中、彼はDenenberg夫妻の住所をうっかりなくして、連絡が取れなかったことを残念がった。

今から約3年ほど前、彼は日本でGoogleで検索中、Normanの経営する法律事務所を探し出した。そして、ニュージーランド旅行中に助けてもらったことをまだ忘れてはいないと感謝の手紙を送った。Denenberg夫妻は今度、米国に来ることがあったらぜひまた会いたい、オマハにぜひお出でなさい、と応じた。

その時は、今週やってきた。

Dr. Oguchiは、妻と二人の子供を連れてオマハを初めて訪問した。有名なオマハステーキをDenenberg夫妻と楽しみ、翌日は、市内のメモリアルパーク近くにある夫妻の自宅で、夫妻の知人たち、息子たちを交えて夕食をともにした。その知人たちの中に、オマハ在住で日本出身の彫刻家 Jun Kaneko 氏夫妻もいた。日中は、Kaneko氏のスタジオ見学も楽しんだ。翌日は、オマハ市内のオールド・マーケットでの散策を楽しんだ。  
<http://www.youtube.com/watch?v=-yZPoG86jkU> (Omaha, Nebraska)

Dr. Oguchiは、以前より上達した英語でこう語った。31年前、ニュージーランドの最高峰マウント・クックへ向かう山道で、自分のレンタカーが故障し立ち往生していた時、たまたま他の車が通りがかった。手を上げて停まってもらい、助けを求めた。そのことに今でも大きな恩義を感じている。



再度連絡を取るようになってから、次はいつ米国に来られるのか、  
今度来たら会いたいと、何度か連絡を頂きました。ご夫妻は既にかなりのご高齢です。  
早く行かないと会えなくなるかもしれない、こちらからオマハへ出掛けなければと、  
意を決して訪米を計画。残念ながらオマハへの直行便はありません。

成田からアトランタへ直行し、その後オマハへ。

31年前、ニュージーランドでは、わずか数時間のお付き合いでしたが、その時に  
助けていただいたおかげで、旅行を無事に終える事ができました。加入して  
いたレンタカーの保険証券を元に修理の交渉を手際良く行い、これで問題  
なく修理してもらえるはずだ、と私に告げてお別れしました。後日、彼が  
弁護士だったと知ってなるほどと感心しました。今回、オマハに先立って訪  
問したアトランタでは、エモリー大学研究室での上司ご一家、米国人同僚  
医師の一家とも旧交を温める事ができ、改めて思い出の旅となりました。



ハードスケジュールだったにもかかわらず、疲れるどころかエネルギーを頂  
きました。エモリー大学キャンパス、ストーンマウンテンパークなども散策しました。

[http://www.youtube.com/watch?v=PILrWL\\_Ttw0](http://www.youtube.com/watch?v=PILrWL_Ttw0) (Emory University, Atlanta Georgia)

<http://www.youtube.com/watch?v=i6yLPVeR6OQ> (Stone Mountain, Sky ride Down)